



「四国山地におけるツキノワグマ生息範囲調査」について
～「はしっこプロジェクト2015」～

森林管理局では、四国での絶滅が危惧されているツキノワグマのおおまかな生息分布域(外縁)を把握するため、NPO 法人四国自然史科学研究センターと連携した取り組みを昨年度から開始したところです。

昨年度の調査の結果、ツキノワグマの新たな生息域が確認できなかったことから、四国での生息域は、既に確認されている地域に限られる可能性が高いと考えられるところです。

このため、今年度は、国指定剣山山系鳥獣保護区及びその周辺で調査を実施してきた環境省やツキノワグマの保全活動に取り組む公益財団法人世界自然保護基金ジャパンとも連携を図ることとして、生息状況のより正確な把握(絞り込み)に取り組むこととしました。

(プロジェクトの内容)

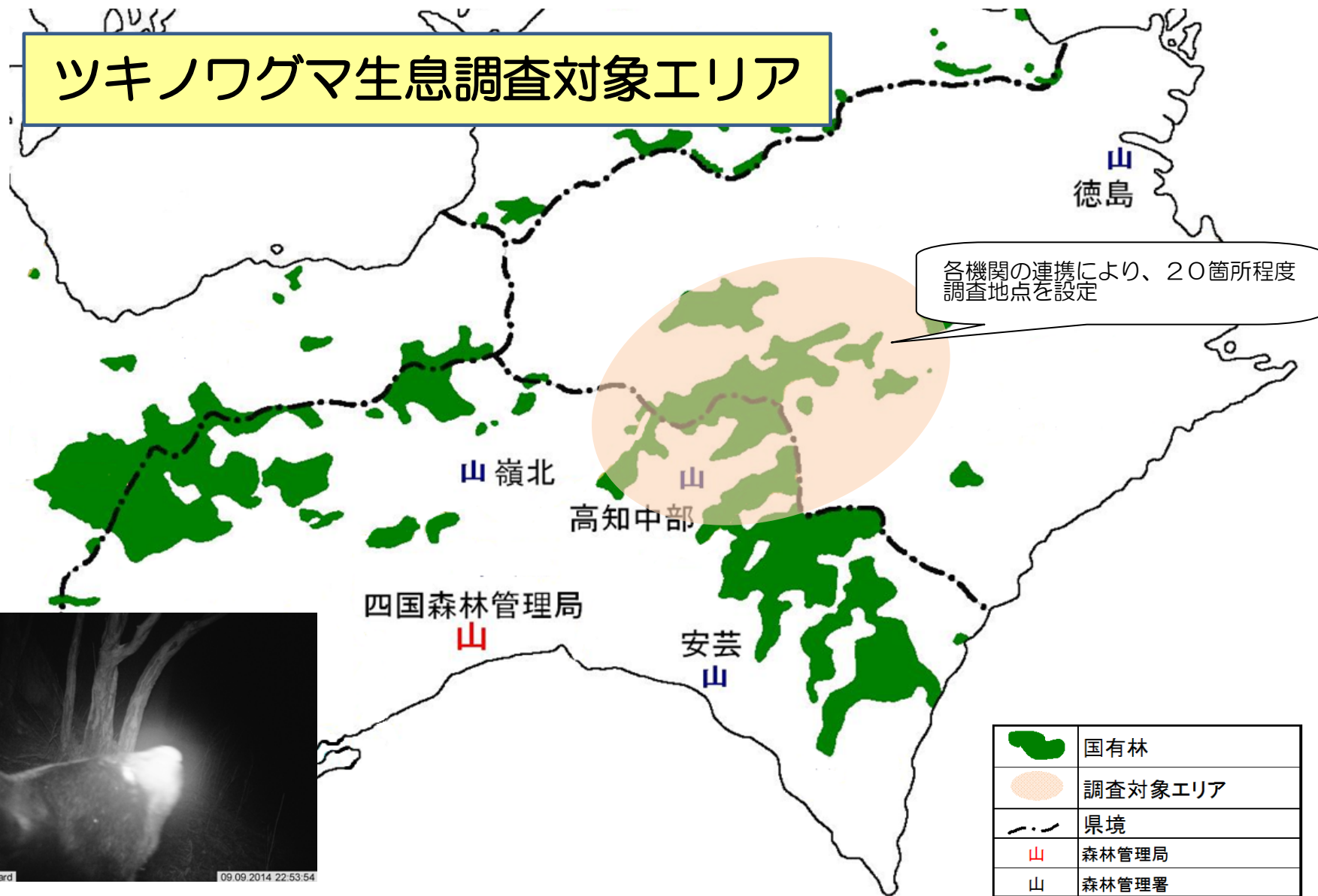
- 調査方法
センサーカメラ(無人撮影装置)等によるツキノワグマの生息状況の調査
- 調査対象地
四国山地緑の回廊(国有林)及び隣接する民有林(合計20ヶ所程度)
- 調査スケジュール
6月からセンサーカメラの設置を開始し、11月中を目途に回収し、画像を分析

～お問い合わせ先～

担当：計画課 池田、野田

TEL：088-821-2100

ツキノワグマ生息調査対象エリア



昨年度撮影されたツキノワグマ(2014.9.9)